NIE実践報告

1．タイトル：知的障がい特別支援学級でのパソコン歴史人物新聞作り

2．学校名

鹿児島県鹿児島市立城西中学校特別支援学級

3．実践者名（代表者名）

福丸恭伸

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

特別支援教育　3名

6．単元（本時の学習課題）名

「パソコンで歴史人物新聞を作ってみよう！」

7．目標(狙い)

(1)　歴史上人物の新聞作りの楽しさを通して，歴史に対する興味・関心をもたせる。
(2)　新聞作りを通して，歴史上の人物の業績を自分なりにまとめることができるよう支援する。

8．評価の視点

歴史人物新聞作りを通して，歴史上の人物の業績を自分なりにまとめたり，新聞作りの楽しさや歴史に対する興味・関心をもたせたりするよう支援できたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「手書きによる歴史人物新聞作成」6時間
「パソコンによる歴史人物新聞作成」6時間　　合計12時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①（編集会議）歴史上の誰についての記事をのせるか，歴史新聞のタイトル，紙面のレイアウト，イラスト，画像等を考え，発表する。（1時間）
②（人物イラスト作成）それぞれの関心のある人物のイラスト画を自由に楽しく描く。（1時間）
③（調べ学習）選んだ歴史上の人物について，文献やインターネット等で調べ，まとめていく。（2時間）
④（記事の下書き）調べたことをもとに，歴史人物新聞の下書きを行う。（2時間）
⑤（パソコンによる文章編集）新聞のフォーム（型）にそれぞれの文章を編集していく。（5時間）
⑥（印刷・配布・掲示）プリンターを使って印刷し，完成した歴史人物新聞はラミネート加工した上で，校内掲示したり，家庭に配布したりする。（1時間）
（留意点）
・歴史上の人物は本人の自由意思で決めさせ，その人物のイラスト画を描くことで，新聞作成に向けての意欲をもたせるよう配慮する。
・文章の丸写しにならないよう，まとめや感想等を入れて，個に応じた自分なりの新聞となるよう支援する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「ザビエル新聞」作成生徒感想「授業の内容がわかりやすかった。難しい漢字や文章がたくさんあった。」
「北条政子新聞」作成生徒感想「自分で枠から決めて家系図を作ったり似顔絵を書いたりした事がよかった」
「紫式部新聞」作成生徒感想「新聞を作っていい経験ができました。高校に行っても調べていきたいです。」

12．成果と課題

（成果）知的障がい対象の特別支援学級でも生徒が個性を生かした歴史人物新聞作りが可能であることが分かった。新聞作成においてパソコンで文章編集をすることで自分なりに考えてまとめる力が育成され，新学習指導要領の意図する「言語活動の充実」に資すると考える。
（課題）知的障がいの生徒は考えてまとめる力が不得意な傾向が強い。文章編集の過程において，資料に依存し過ぎないよう十分に事前指導をしたうえで，新聞作成に取り組んでいけるよう支援する必要がある。